

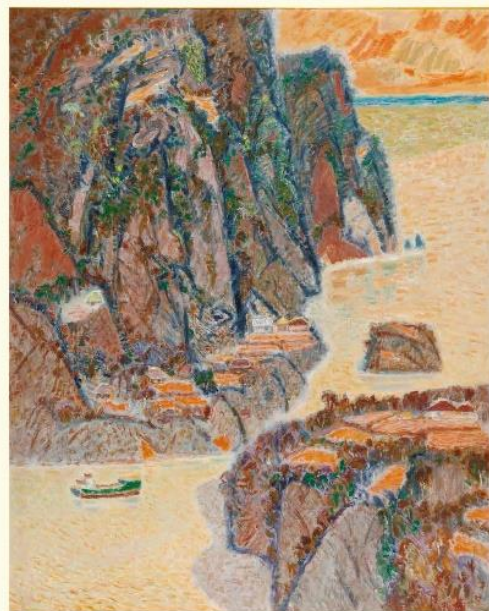
# 不知火美術館コレクション展

## 日々是好日 にちにちこれこうにち

現在のコロナ禍において、日常生活には新しいルールができ、これまでの当たり前が姿を変えつつあります。慣れない状況に窮屈さを感じることもあります。時には美術館で気持ちをリラックスさせませんか。

軽やかな線描、明るい色使い、自由な構成を持つ作品は見る人の心を解放してくれるかもしれません。作品は作家たちが自分なりの表現を模索しながら生み出した偽りのない態度です。それらに向き合う時、きわめて個人的なテーマが描かれているにもかかわらず不思議と共感を覚えたり、何でもない何かの奥の大切なものを呼び起こしたりすることがあります。気持ちにルールを設けずに自由に心を遊ばせてみませんか。

本展は気分が曇りがちな日々においても、みなさんに心がやすらぐ素敵な瞬間を感じてほしいと願いエールを送る展覧会です。当館の収蔵品の中から明るくて元気になる作品を選び、約50点を紹介します。



清原武則《落陽》1983年頃 油彩、キャンバス



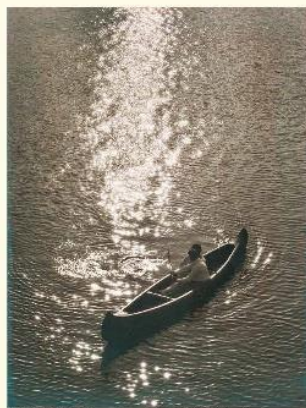
栗崎英男《まどろむ（アンダルシア）》1984年 油彩、キャンバス

### 【ご来館のお客様へのお願い（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策）】

●マスクの着用、手指の消毒をお願いします。 ●入館時に「ヘルスチェックシート」のご記入をお願いします。 ●発熱や風邪、味覚障害の症状がある、体調がすぐれない、身近に新型コロナウイルス感染症もしくは感染の可能性がある方がいらっしゃるお客様につきましては、ご来館を控えていただきますようお願いいたします。 ※詳しくは当館ホームページをご確認ください。



松本英一郎《さくら・うし 95-3》1995年 油彩、キャンバス



河野浅八《Evening Ride》1930年  
ゼラチンシルバープリント



武内明子《カーテンの向こう》2008年 油彩、キャンバス



野田哲也《Diary: March 10th '94》1994年 木版・シルクスクリーン、紙

## 宇城市不知火美術館

SHIRANUHI MUSEUM OF ART  
〒869-0552 熊本県宇城市不知火町高良 2352  
TEL 0964-32-6222 FAX 0964-32-6223  
<http://kumamoto-museum.net/shiranuhi/>

■JR:松橋駅から右折、2つめの踏切を渡り50m直進。左側国道266号線下の小さなトンネルの先に美術館。(徒歩8分) ■バス:松合経由三角行き不知火支所前下車  
■車:九州自動車道松橋インターより天草三角方面へ4km

